

総評

理科が難しく、全体としても標準からやや難しめの出題でした。今回の学力コンクールは、小学校内容の復習でしたが、学習した内容を忘れてしまっていた人もいます。中学校の学習は、小学校の学習内容をより深めたり、くわしく考えたりする学習が中心で、これまで学習してきた内容はとても大切です。小学の教科書はしばらく手もとに置いておき、疑問点はすぐに調べるようにしましょう。

道コンのようなテストは、現在のみなさんの実力を測る道具であると同時に、自分の弱点に気づき、こくふくする機会でもあります。結果をぼんやりとながめるだけでは、せっかく受けたテストがむだになってしまいます。まちがえた問題を見直し、解き直して初めて、実力アップにつながり、受験した価値があるのです。

国語

標準～やや易しい難易度の出題でした。

㊦は、問一(5)と問二の得点率が低かったです。同じ読み方をもつ漢字について、意味の違いを一緒に覚えることが大切です。㊦の問二は、グラフから相関関係をとらえるような問題で、得点率が全体で一番低くなりました。入試でもグラフが資料として出題されることがあるため、グラフにある複数のデータを比較し、共通点や相違点、関係性を読み取る練習をする必要があります。㊦・㊧は、大きく得点率が低くなるような問題はありませんでした。空欄前後とのつながりが悪かったり、理由を問われているのに、語尾が「から」や「ため」になっていなかったりする解答がよく見られました。問題文を読み、「何を」答えなければならないのかを正確にとらえて、解答の形式を整える力が必要になります。

数学

標準～やや難しい出題でした。主に小学6年生の分野からの出題でしたが、慣れないテスト形式や難しい問題に対しても、かかんに取り組んでくれたようです。

①は、いずれも得点しておきたい基本の問題です。まちがえたところは必ず復習してください。

②、③、④は、データの活用や比例、割合など、中学1年生で学習する内容への導入も兼ねた出題でした。

③問1のように複数の分野にまたがる問題や、④問2のように読解力を必要とする問題は、得点率も伸び悩んでいました。今後も、このようなタイプの問題に触れる機会はたくさんあると思いますから、解説も参考にしながら整理してみてください。⑤、⑥は応用問題でした。解けた人も解けなかった人も、どのような方法で解いていくのか、改めて確認してみましょう。

社会

標準的な出題でした。

①、②は5年生で学習した内容だったので、忘れてしまったところもあったと思います。①問1～3や②問3は中1で学習する内容なので、まちがえてしまった人はしっかりと復習しておきましょう。

③、④は歴史分野の出題でした。④問5の得点率は非常に低くなりましたが、③問3、問6などの基本的な問題の得点率は高くなりました。

⑤は政治、⑥は国際社会に関する出題でした。どちらも資料を読み取る問題が出題されました。

北海道の公立高校入試では、資料を利用した問題が多く出題されるので、苦手としている人は、これからの学習のなかで資料問題に慣れていきましょう。

理科

難しい出題でした。忘れてしまっていたところや、休校になった影響で十分に身につけていなかったところもあったと思います。中学校では、小学校で学習した内容をさらに詳しく学習することが多くあります。中学校での学習内容がふえる前に、まちがえたところなどをしっかりと復習しておきましょう。

①と②は、6年生で学習した内容で、基本的な内容が多く出題されていましたが、正解できなかった人が多かったようです。③は、4年生で学習した内容でしたので、忘れていたことも多かったのではないのでしょうか。⑦は、問2の得点率が低くなりました。まちがえた人は求め方を確認しましょう。⑧は、全体に得点できなかったようです。実験の流れを理解して、思考する問題が多かったこともあり、難しかったようです。

英語

やや難しい出題でした。これまでの小学校の英語では「聞くこと」が重要でしたが、これからの中学校の英語では「書くこと」と「読むこと」ことも重要となります。今回のテストでまちがえた問題をそのままにせず、しっかりと復習しておきましょう。

①問4は英語の質問に英語で答える問題でした。質問の内容を聞き取ることはできても、英語で表現することが難しかったようです。

②問2は本文中の下線部の英語を日本語で答える問題でした。want to～「～したい」という表現をあいまいに覚えていた人が多かったようです。

③問3は天気について英語で答える問題でした。この問題ではスペルミスが多くみられました。次回からミスをしないように英単語の復習をしていきましょう。